

病院統合再編

出前講座の開催状況と主な質問・回答を紹介します

お問い合わせ／
市企画調整課企画調整係
☎2615704

出前講座での主な質問・回答

1月中旬から、市立酒田病院と県立日本海病院の統合再編に関する出前講座を行っています。これまでに自治会や各種団体等から申し込みがあり、延べ8団体282人が参加し、統合再編の内容説明と意見交換を行いました。連日のように全国的な地域医療の危機的状況が報道される中、2つの病院の統合再編は大きな課題であり、市民の皆さんの関心が高く、多くの質問や意見が出されました。

また、出前講座と並行して酒田地区医師会との意見交換会や両病院に勤務する職員への説明会も行っています。引き続き病診連携や地域医療の強化、職員の不安の解消など、

統合病院が円滑に運営できるように準備を進めていきます。



Q 病床数が減るようですが、今後は団塊の世代の高齢化により、患者数はむしろ増えるのではないのでしょうか。

A 現在でも平均すると両病院で200床ほどのベッドが空いています。基本構想では、20年先までの患者推計をしていて、団塊の世代などの高齢化等による患者の増人口減や医療の進歩による在院日数の減などを勘案して病床数を積算しています。

Q 統合は避けて通れないと思うが、そこで働く職員は身分がどうなるかわからないため反対もあると聞きます。身分保障はどうなるのですか。

A 公務員の身分がなくなるため、一部不安を訴える職員もいます。職員団体等との話し合いや職員説明会を通じて理解を得、職員にとっても働きがいのある病院にしたいと考えています。

Q 救命救急センターなど、高度医療を目指せば目指すほど赤字に

なるのは難しいと聞きます。将来、経営が困難にならないような経営形態にしてほしい。

A 高度医療や災害医療などの政策医療は、今後も県と市が責任を持って経費を負担していきます。過大な投資を避け、効率的な運営を目指すことにより、目まぐるしく変わる医療制度改革に迅速に対応できる経営形態にしていきます。

Q 統合再編で看護師は不足するのでしょうか。民間病院・診療所の看護師が統合病院に転職して、民間病院等の看護師が不足することはありませんか。

A 看護師は、現在の両病院の人員で運営していく予定であり、看護体制も今よりも充実できると考えています。

Q 市立酒田病院の東棟を並急性期医療に活用するそうですが、在宅医療と福祉との連携はどうなるのですか。

A 統合病院がうまく機能するためには東棟に整備される亜急性期病床の役割は重要です。民間の療養病床や診療所等の連携が必要な

ため、地区医師会とも協議をしています。さらに地域全体として医療、福祉、介護との連携も必要であり、現在策定中の県の保健医療計画等に反映させたいと考えています。

Q 市立酒田病院の東棟の改築や日本海病院の敷地に建設する120床増床のための経費はどうするのですか。市と県の費用負担はどうなるのですか。

A 東棟の改築や増床は、市の病院整備基金や起債（借入金）などの活用を予定しています。いずれにしても将来、安定的な経営ができるよう効率的な改修や施設整備をしていきます。市と県の費用負担は、今後協議していきます。

出前講座をご利用ください

開催希望日の2週間前までに、直接またはファクシミリ、Eメールで市まちづくり推進課地域づくり係 265725、☎263688、Eメール machi@city.sakata.lg.jp へ申し込んでください。

病院統合再編に関する皆さんの意見を募集しています。

市企画調整課企画調整係 265704、☎266914、Eメール kizaku@city.sakata.lg.jp